

# かわかみ

源流の村に花巡る  
—湖畔にも山の中にも山桜—

●主な内容●

令和5年度所信表明	2
第1回 川上村議会定例会	5
卒園式・卒業式	6
固定資産税縦覧期間	7
人事異動	11
	20

川上宣言

一、私たち川上は、これから育つ子供たちが、自然の生命の躍動に素直に感動できるような場をつくります。

(川上宣言は全部で5つの項目になります。  
毎号1項目ずつ掲載していきます。)



# 令和5年度 所信表明



3月議会で所信表明を行う栗山村長

はじめに、この1年を振り返りますと、ここにきて収束の兆しを見せている新型コロナウイルスであります。一昨年・昨年に続き、感染拡大に翻弄された一年でありました。が村民皆さまの予防意識もさらに高まり、かつ医療関係者の経験・連携により順調にワクチン接種ができたこと認識しています。

一方、最重要課題であります義務教育学校整備事業については、国際的な建設資材の高騰など建設環境が厳しい中にありましたが、順調に入札を終え、今着実に作業が捗っていると解しています。あ

わせて校章も決まり、肝心の一貫教育体制についても議論を深めることが出来ました。

さらには、かわかみ源流ツーリズム事業についても、所期の目的に沿って順調にスタートができ、今後さらに「住民の技(わざ)」や「出番」が増すことが必要です。その背中を押していただく形となつて西日本ではじめての取り組みとなつたONSENガストロノミーウォーキング事業が、本村観光協会の自主的かつ主体的な取り組みにより、めざすところの「協働元年」になつたものと手応えを感じています。

重層的支援体制整備事業についても、その目的通り上手く機能していることを証明するように、その取り組みが奈良県主催の政策自慢大会において、最優秀賞をいただいたことは議員皆さまの承知をいただいているところであります。また、川上ing作戦を主とした新たな出会いを求めること、「かわかみらい」と名付けた関係人口の構築や繋がりを深化させること

についても、大きな成果があったものと確信しています。

さらには、長年の懸案事項でありました国道169号の重要物流道路指定も、悲願達成の運びとなりました。あらためて議員各位に深く感謝申し上げます。引き続き、事業化に向けご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

本村は、国と県の予算とその施策を踏まえ、予算総額49億9,890万円としました。前年度比25%の大幅増額予算としています。申すまでもなく、来春の開校をめざした義務教育学校整備事業とその関連予算の計上が主な要因であります。「15の春は正夢に」をめざし、万全を期す決意で挑みます。また引き続き、国県の感染症対策の動向、取り組みをしっかりと見極め、見守りたいと思います。

その上で、川上宣言の一層の具現化を図り、源流ツーリズムの理念に基づき、「都市にはない豊かな暮らしを築くこと」をめざし、住みごこちを整えること、新しい出会い・つながりを求めること、に創意工夫をもって取り組むこととしていきます。

それでは主な施策や事業について説明させていただきます。

水源地の村づくりをさらに推進すること

「川上宣言」という明確な道しるべのもと、源流がまさに命の源(みなもと)である水源地として存在し続ける価値を村の取組として訴えてまいります。

すべての村民が、「生きがい」「やりがい」「働きがい」そして、「この村での暮らしがい」を少しでも感じていただけるよう、行政と住民のみならず、民間事業者のみならずとの「官民協働」を意識し、「川上宣言」の具現化につなげたいと考えています。

昨年度(令和4年度)、森と水の源流館は20周年にあたり、源流館が中心となつて取り組んできた、源流地域の価値を高め、発信してきた歩みとつながりをあらためて共有することができました。今後これらの「価値」を少しでも経済効果に換えていくために、かわかみ源流ツーリズムが、付加価値のあるサービスや商品を提供していかなければなりません。新しく誕生した「かわかみ源流グループ」の真価が問われる年になると考えています。

昨年度(令和4年度)から、河川敷等でのパーベキューのゴミや

駐車問題の迷惑行為対策として、「しないでください！」を合言葉に呼びかけを進めています。この言葉だけで迷惑行為をゼロにすることは簡単ではありません。昨年度のゴールデンウィークやお盆の前後の啓発巡回においても、バーベキューの現場を目にしております。しかし、このメッセージに対して、単なるクレームではない、アイデアの提案を含めたお手紙や応援の言葉も届いているようです。川上宣言のもと水源地の村づくりを掲げる川上村で、なぜ「しないでください！」なのか、ほかの町村とは何が違うのか、どう違うのかということが伝わり、考えていただく機会になっていると思えます。本年度も村や財団が一丸となって、一層取り組みを深めます。

また、本年は村内の再生可能エネルギーのポテンシャルを調査し、導入の検討をすべく「(仮称)川上村ゼロカーボン計画づくり」を展開します。この事業では、木質バイオマスや水力を活用した発電・公共交通や公共施設の省エネルギー化推進など、既存の化石燃料の消費を抑え、温室効果ガスの排出抑制が効果的に可能な事業を

検証します。そして実現可能な事業を計画的に実施していく予定であります。

### 健康な暮らしとコミュニティづくりをすすめること

ご承知の通り村は、昨年より重層的支援体制整備事業に取り組んでおります。この事業は市町村が創意工夫をもって包括的な支援体制を構築するもので、地域の支援力の限界点を引き上げ、効果的に住民を支援していくためのものです。この事業を活用し、医療職や福祉職といった専門職を配置することにより、村民の居心地(住み心地)を整えるための施策をすすめてまいります。

すでにコミュニティソーシャルワーカーは地域に出向き自主活動グループ間の交流や、民生児童委員と会話を重ね、地域の活力を引き出す取り組みを始めております。また専門職と事務職が協働することにより、職員のスキルの上や村民サービスの向上につながっております。今年度はリハビリテーションを専門とする理学療法士を採用し、住環境を改善するための取り組みを始めます。そして、子育て支援としまして

は、平成25年度より始まった川上ing作戦をはじめとする、様々な移住施策や子育て支援策の成果により、8年間で3倍の園児数となっており、今年度においてもは、一時預かり保育を利用しやすくするため、新たに人員配置を行います。このことにより利用したい日に一時預かり保育が利用できることとなります。あわせて学童保育においても常勤の指導員を雇用し、学童保育の内容の充実と安定運営に取り組みます。また、令和6年度より開校となる保育園並びに義務教育学校にむけて、子育て支援施策の拠点化の準備を進めます。保育園内に設置予定のこども「家庭センター」においては、

子育てに関する悩みを気軽に相談できる体制のほか、保育士や教師をサポートするために作業療法士などの発達支援専門職の派遣も計画しております。

そして村、社会福祉協議会、民生児童委員、保育園等が連携し、村民の皆様が一日一日を元気で楽しく、やりがいをもって暮らしていただけるように支援を行ってまいります。

### 住みごこちを整え、集落に「元氣」をつくること

区長をはじめ多くの村民皆さまからいただいたご意見をもとに、今後も一緒になって村づくりに励む決意であります。

自治体におけるデジタル・トランスフォーメーション(デジタル化)推進の流れがより一層加速しております。本村においても、マイナンバーカードのさらなる普及とともに個々の手続きのオンライン化など、住民の皆さまの幸福追求のための取り組みを実施いたします。

マイナンバーカードについては、令和4年度は所有率を上げられるべく取り組みを行ってまいりました。



コミュニティナースによる地域での見守り活動



た。地域を巡回する出張申請をはじめ、夜間、土日の休日開庁等の甲斐もあり、現在の所有率は約75%となっています。本年度は一層所有率を上げるため、高齢者宅の個別訪問も行い、引き続きその普及に努めます。

また、オンライン化については、奈良県が考えるデジタル戦略と足並みをそろえ、誰一人取り残さず、子どもから高齢者まで、「生活の質の向上」を実感できる行政サービスの提供に努め、地域が抱える課題の解決に取り組んでまいります。

住環境への対策として、住居が必要な方のための村営住宅の建設や子育て世帯向けの住宅として、村が空き家を借り上げて改修し、貸し出す「住まいる住宅」の整備など、安心して生活のできる住宅整備を行ってまいります。

住環境では、引き続き停電対策などライフラインの維持や保全に力を入れるとともに、老朽化してきている橋梁や村道の維持修繕を積極的に実施することで地域のインフラ整備も進めます。

一般社団法人かわかみらいふ事業は、買い物支援や高齢者の見守り活動など村民の日々の暮らしを

支えるため大きな役割を果たしてきました。更に協力隊が運営してきましたやまいき市の継承や、農業を通じて高齢者の生きがいづくりへのチャレンジ等、村民の住みごこちの向上に努めてまいります。

令和3年4月から稼働している事業協同組合かわかみワークでは、Uターン者やIターン者等をはじめ村内で働きたい方を職員として雇用し村内の事業所へ派遣を行っております。

引き続き、働きたい人と働いてほしい事業者をマッチングし、職員を派遣することにより移住者の受入れや持続可能な事業所支援に取り組めます。

### 林業の6次産業化を加速させること

林業及び木材業においても、「協働」の取り組みが進んで参りました。まず林業分野では、昨年度からスタートした地域おこし協力隊員による作業道開設作業は、携わる隊員も3名に増えて引き続き延伸しています。森林所有者組織による集約施業と作業道開設についてもおおむね計画どおりに進めております。

さらに、都市部自治体での森林

環境譲与税活用を目的に設立された「上下流による木材利用等促進連携コンソーシアム（共同事業体）」での田原本町との森林整備や環境教育及び木材利用に係る連携事業については、規模や内容の拡充を図るとともに、他市町村への拡大にも努めて参ります。

次に木材業の分野でも、木工セクターにおいて村内の木工事業所や木工作家、地域おこし協力隊員との「協働」による木製品の生産を始めています。具体には、各々が受注した木製品について、加工の一部を分業したり、機械設備を一時使用すること等で、受注の拡大や作業効率化、経費削減、新商品開発などに繋げるとともに、情報発信や販売体制の強化と併せ、村産材の利用拡大を図ります。

また、保育園並びに義務教育学校の用材につきましては、構造材は建築に向けた加工作業等が進んでおり、床板や壁材については新たに導入した塗装設備を使って自然塗料の塗布作業を進めています。他の用材についても施工図に応じた長さや幅等の加工作業を進めます。

尚、広報かわかみ3月号（さらに、前へ）でも少しふれたよう

に、奈良県立医科大学の研究で、わが村の杉材には「免疫力を鍛える」効果が高いという成果が示されました。吉野杉の効能が医学的見地から証明されたことは、村の林業・木材業にとってこの上ない後押しとなるものです。いぜん厳しい林材業界ではありますが、「木の文化」の「復権」をめざします。

### 「教育村」と若者定住をめざすこと

先人から受け継いだ本村の教育への熱い思いを次代へとつなぐため、今年度も「村づくりは人づくり人づくりは教育」をモットーに、「15の春は正夢に」を実現させるべく、「教育村」としての営みをさらに進化させたいと思います。

義務教育学校整備事業のひとつの節目であった実施設計の完了、そして建設資材等の高騰から心配しておりました建設業者の入札も無事終わることができ、いよいよ最終段階である建設工事が着工されました。本事業は、住民のみならず多くの方の夢と希望が込められています。工事に当たる施工者・監理者には、機械的な工事運用ではなく、心のこもった学校づくりを進めてもらうよう都度伝えながら令和6年1月末の完成を目

指しているところです。

一方、ソフト事業においては、9年間を見通した一貫教育活動の確立と発信、故郷力や人間力を養う「公共塾」の立ち上げと学校・地域間の一層の連携、子育て支援拠点化に向けた運用体制の構築等、学校及び関係各課連携のもと着実に進めてまいります。

まさに、「村のすべての子どもたちを育む拠点」とする決意であります。〃教育に熱意ある村〃を次世代に引き継ぐという当初の覚悟を確たるものにするため、引き続き議員各位のご意向ご意見を十分にふまえ、関係各課、保小中教職員、保護者等関係諸機関との協



完成予想図

議を重ねながら、誰からも愛される学校づくりを進めてまいります。

また、若者定住について、川上ing作戦事業では「水と人が澄む村」自然あふれる村で子育てをキャッチコピーとして、子育て世代をターゲットと捉え「子育て」教育「暮らし」「住まい」「仕事」の5つ施策をワンセットとして整理し、PR強化のため、移住定住ホームページを刷新、SNSの有効活用、Web広告、移住イベントへの出展など情報発信を行ってきました。他にも、役場若手職員を中心に協力隊や村民の協力を得ながら、現状の移住定住施策の再確認や多様化しているニーズや生活様式に対応できるよう勉強会を実施し、新たな施策について検討を進めるなど、村が一体となって重要施策として取り組んでまいります。

引き続き、新たな出会いを求め、村のメッセージをよりわかりやすく、一人でも多くの方に届けるため発信力を工夫かつ強化してまいります。

観光振興と企業や大学との連携をさらに深めること

今年度も感染症対策を実施の上、イベントや催しを実施していきます。また、前述でもあった「しないでください！」の呼びかけを推し進め、川遊び客にも協力を求めます。受け入れ先である白川渡オートキャンプ場や中井渓谷、井水鹿の里等の施設整備については、地元と協議し、「水源地の村づくり」の思いを共有したうえで、計画的に改修等を実施します。

さらに大学との連携では、大阪工業大学や奈良女子大学との連携により、大学の専門的なスキルや若者の発想や視点を活かした観光資源の利活用や特産品の開発、販売促進等に取り組んでまいります。

令和4年度には、北九州市立大学地域創生学群と連携協定を締結し、令和5年度には人間環境大学と連携協定を締結する予定です。それぞれの持ち味を生かしながら、多くの村民が関わる仕掛けづくりを行い、関係人口の創出へとつなげます。かつ、特定の大学にとらわれることなく、地域づくりインターンやふるさとワーキングホリデーも継続して取り組み、多様な価値観が共生する村をめざします。

最後に、先月27、28日の両日、小田切徳美明治大学教授(総務省過疎問題懇談会座長。宮口侘廸先生の後継者)にお越しいただき、また議員各位もまじえ勉強会を開催いたしました。

昨今にわかに話題になりつつある「国土の多極集住論、農山村たみ論」について、小田切先生の理念や見解を伺い、意見交換をさせていただきました。その中で、令和3年度所信表明の際にもふれ、新過疎法制定の際にも語られたように「都市とは別の価値を持つ低密度な居住空間がしっかりと(健全な地域)と存在することが国の底力になることを、あらためて考え主張することが重要」と話され、さらに「にぎやかな過疎」が大切だ、でありました。宮口先生の教えに通ずるものであります。

私たちは、美しい森や川を保全することはもちろんのこと、「価値ある地域とは、健全な地域とは何か」「にぎやかな過疎とは」をあらためて見つめ、わが村の使命と価値をさらに磨き、村民皆さまの生きる力の源になることを決意しました。

引き続き、ご指導とご協力をお願いいたします。

# 第1回川上村議会定例会を開催！

令和5年度当初予算など24議案が可決、承認、同意される

令和5年第1回川上村議会定例会が3月7日（13日）に開催されました。初日の7日には栗山村長が令和5年度の当初予算編成の所信表明を述べた後、令和5年度一般・特別会計予算など24議案について審議され、いずれも原案どおり可決、承認、同意されました。

また、塩谷章次議員、辻晋司議員から一般質問がありました。

## ◎専決処分の承認を求めること

◆令和4年度一般会計予算補正  
57万2千円を増額し、予算総額は43億3,357万3千円となりました。

これは出産・子育て応援交付金を3月初旬に給付するものです。

## ◎村議会議員及び川上村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

主な改正内容は公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙公営制度の公費負担における物価の変動、選挙等の執行状況等を鑑みて、公営に要する経費に係る限度額が引き上げられたものです。

## ◎情報公開条例の一部改正

川上村情報公開・個人情報保護

審査会条例の制定に伴い、川上村情報公開審査会をなくすものです。

## ◎村議会の個人情報の保護に関する条例の制定

主な内容は改正された個人情報保護法（改正保護法）では、地方議会が同法の規定の対象外となっていることから、村議会も個人情報保護制度を整えるため条例整備を行ったものです。

## ◎情報公開・個人情報保護審査会条例の制定

主な内容は、川上村個人情報保護条例の廃止に伴い、新たに個人情報保護審査会と情報公開審査会の両方を担う審査会を設置するものです。

◎個人情報保護法施行条例の制定  
主な内容は、改正保護法の施行に関し、必要な条例整備を行ったものです。

## ◎第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正

医師と医療専門職の（助産師・薬剤師・保健師）の給料表が同一区分となっていたものを見直すものです。

## ◎国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令の改正に伴う、条例の一部改正です。

## ◎若者定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

新たに住まいる住宅1戸が東川に追加されたことに伴う条例の一部改正です。

## ◎令和4年度一般会計予算補正

1億533万6千円を減額し、予算総額は42億2,823万7千円となりました。

これは事業費確定に伴う不用額として減額するのが主な内容です。

## ◎令和4年度村営林野事業特別会

### 計予算補正

11万7千円を増額し、予算総額は2,996万7千円となりました。これは村有林野基金積立金において、国債の利益の発生に伴う預金利子の増額により、積立金の増額措置をするものです。

## ◎令和4年度国民健康保険事業特別会計予算補正

### 《事業勘定》

129万1千円を増額し、予算総額は2億2,279万1千円となりました。

これは国保連合会への業務委託料などを増額するのが主な内容です。

### 《直診勘定》

65万4千円を増額し、予算総額は1億96万9千円となりました。これは職員給与と費の見込変更分の増額となります。

## ◎令和4年度簡易水道事業特別会計予算補正

411万4千円を減額し、予算総額は1億5,370万4千円となりました。

これは事業費確定に伴う不用額として減額するものです。

## ◎令和4年度介護保険事業特別会



計予算補正

《保険事業勘定》

26万2千円を減額し、予算総額はそれぞれ2億8,091万3千円となりました。  
これは事業費確定に伴う不用額として減額するものです。

◎村の森林法に基づく事務を奈良県に委託すること

奈良県フォレストスターの受け入れに伴い、森林法に基づく事務を奈良県に委託することについて議決を求めたものです。

◎人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の上平守男氏が令和5年6月30日をもって任期満了することに伴い、新たに橋本しま子氏を法務大臣に推薦することに同意を求めたものです。

◎一般質問

塩谷章次議員

- ・日本の安全保障について
- ・ジェンダー平等と賃金格差について
- ・安心して耕作できる環境づくりについて

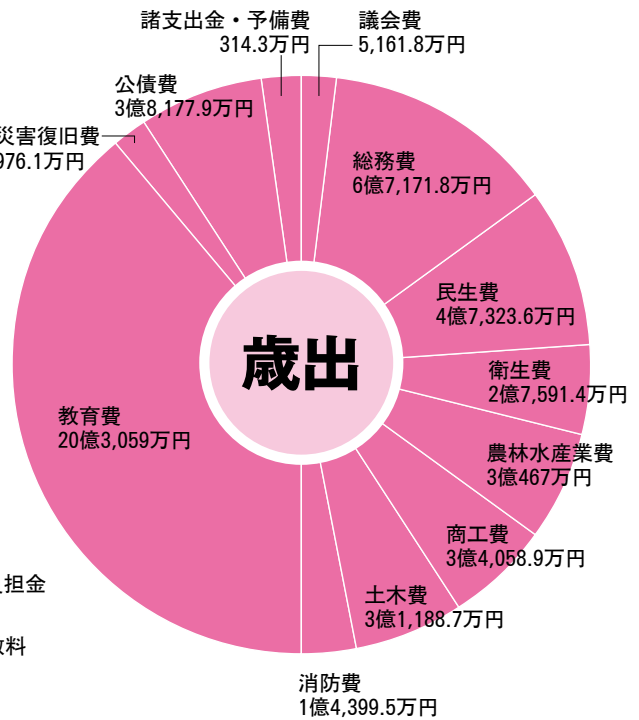
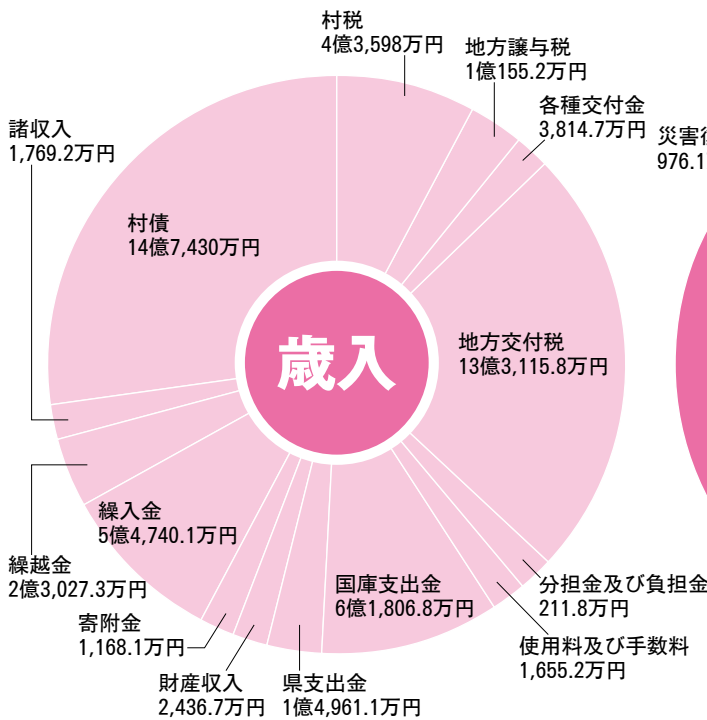
辻晋司議員

- ・村の歴史と文化の継承について

令和5年度 一般会計当初予算額は

49億9,890万円

前年度比：10億1,590万円増額



令和5年度 特別会計予算

区分	予算額
村営林野事業	1,630万円
国民健康保険事業 〈事業勘定〉	2億1,200万円
国民健康保険事業 〈直営診療施設勘定〉	9,200万円
簡易水道事業	1億3,860万円

区分	予算額
水没者生活再建 対策事業	1,096万円
村立歯科診療所	680万円
介護保険事業 〈保険事業勘定〉	2億6,320万円
介護保険事業 〈介護サービス事業勘定〉	246万円
後期高齢者医療	3,850万円

## 村長コラム



# さらに、前へ

誰もが待ちわびた春。穏やかな季節に包まれながら、このままコロナウイルスの収束を願ってやみません。

この時期、希望に満ちて人生のあちこちで新しいステージに立った人は多いことでしょう。その希望の隣にあるのが戸惑いでもありません。その経験は多くの先輩たちも同じです。慌てず焦らず初志貫徹をめざしてほしいと思います。

そうした中、わが村も大事な春を迎えています。かわかみ源流学園の開校が来春に迫っています。「さらに子どもたちを輝かせる」ために、大きな責任があります。すべての関係者が英知をしぼり万全を期す覚悟であります。

国では、いよいよ「こども家庭庁」が発足します。子どもが自立した個人として等しく健やかに成長することのできる社会の実現に向け、国を挙げて取り

組む体制を構築するため、子ども政策の新たな司令塔とする、としています。学校教育環境を取り巻くさまざまな課題からも当然の流れであります。法律上の定めもあり、わが村では保育園併設型の義務教育学校としましたが、本来保育と教育の「垣根は不要では（私の持論です）」と考えます。

本紙先月号でも触れたように、「川上産吉野杉は免疫力を鍛える特性がある」と言うことです。心強いかぎりです。この吉野杉を、ふんだんに用いた舞台で学力はもちろんのこと、人を敬い故郷を愛する子どもたちが、大人になって「わが学びのルーツは川上村にあり」と将来力強く語ってくれる子たちと出会えることを楽しみに、一層取り組みを加速強化します。ご理解ご支援をよろしくお願ひします。

## 4月18日は村会議員選挙の告示日です

4月23日執行予定の川上村議会議員選挙（令和5年4月30日任期満了による）における期日前投票を下記のとおり開催します。



### 川上村議会議員選挙期日前投票



とき 4月19日（水）～22日（土）  
じかん 午前8時30分～午後8時  
ところ 役場1階 書籍室

#### 【問い合わせ先】

選挙管理委員会事務局 TEL 52-0111



# かわかもんがゆく。

—地域おこし協力隊活動記—



・松谷 匠（白川渡）

こんにちは。今年から活動3年目になる松谷です。私が川上村に来てからもう2年が経ちました。なんてベタすぎるセリフですよね。でもそんなベタなこと言うのはこの村が自身にとって本当に居心地が良くて時の流れを早く感じているからなのです。こう思えるのも村の環境と村民さん方の暖かな触れ合いがあったのものだと思います。

仕事の方は順調とまでは言えませんが、ラスト1年はスパートかけていくので皆様応援のほどどうぞよろしくお願い致します。



・後藤 佳希（上多古）

こんにちは、協力隊3年目の後藤です。

先月、先々月と花粉症の私にとって辛い時期でしたが、今月に入って少しずつ落ち着き始めています。また気温も高くなりつつあり、山での作業も快適さを取り戻してきています。気がつけばもう3年目となり今年で協力隊の任期を終了します。これまで通り作業道開設の現場作業と重機の運転に必要な資格の取得を進めながら、卒業後どうするのかについても考えていく予定です。村民の皆様、今年もよろしく願います。

・福島 彰人（高原）

みなさん、こんにちは。協力隊3年目の福島彰人です。今月から協力隊3年目に入り、協力隊としての活動も残り1年となりました。2年目に引き続き、東川での作業道の開設を行っていきます。道付けに必要な技術や知識を習得していきながら、協力隊卒業後に向けて、自分がどのように林業を続けていくのかをしっかりと考えていきます。残り1年、一層頑張っていきたいと思います。温かく見守って頂けると幸いです。



・堂谷 孤空（西河）

西河で木工制作活動をしていきます。4月から協力隊員2年目となり、自身の製作活動を本格的に行い、年内を目標に、自身の作品を県外イベント等で展示することを目標としています。ご近所の方に看板も作成して頂き



まして、気持ちさらさら引き締まりました。心機一転頑張りますので、よろしく願います。西河にお越しの際はお気軽にお立ち寄りください。（アルポール向かいの看板が目印です。）



・島崎 靖章（粉尾）

協力隊2年目の島崎です。早いもので川上村に来て1年経ちました。メインの活動である作業道開設は技術と知識を増やしていき安全第一でやっていきたいです。

それと昨年の秋ごろから自宅で畑をやり始めて、いよいよ暖かくなってきたので夏野菜を育てるのが楽しみです。今年も隙間時間にできる事で何か新しい事を挑戦したいと思うので、また来年の4月にご報告ができればいいと思います。

# 霧の淵 上映会

3月18日、総合センターやまぶきホールにて、川上村を舞台に撮影が行われた映画「霧の淵」の上映会が開催され、多数の方が来場されました。

上映された映画「霧の淵」は2022年のなら国際映画祭・学生コンペ部門で受賞した村瀬大智さんが監督を、河瀬直美さんがエグゼクティブプロデューサーを務められ、昨年度の3月に撮影が行われました。

舞台挨拶では、村瀬監督、河瀬



エグゼクティブプロデューサー、主演の三宅さんと栗山村長が登壇し、作品についての想いを語ってくれました。

村瀬監督は「川上村での撮影は本当に楽しくすることができた。現在新たに編集も行っているの、是非楽しみにお待ちいただければ」と話しました。

本作は、今冬に全国劇場公開を予定しております。追加で撮影したシーンも加わった完成版となりますので、楽しみにお待ちください。

## 出張出前講座

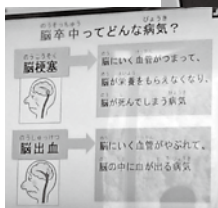
### 「脳卒中ってどんな病気？」

2月27日、川上小学校6年生児童を対象に、出張出前講座が行われました。

講師の先生は、南奈良総合医療センター副院長、脳神経外科の石田先生です。

石田先生は、奈良県立医科大学で学ばれ、奈良の地に何かを遺したいという思いと、医療人材育成が目的で、5年前からこの講座をされているそうです。

コロナ禍のここ3年間は開催が見送られてきましたが、今年は開催が叶いました。



内容は、小学生でも分かる脳卒中についてのお話で、おじいちゃんやおばあちゃんなど、大切な家族を守るために、日常生活の中で取り組めることや家族への声掛け、見守りなどを学ぶことができました。

「あなたのチャレンジがいのちをつなぎます」

川上村救急向上委員会では、もしもの時に備え、おたすけシートの記入を推奨しています。もう一度、お手元にあるかご確認をよろしくお願い致します。



おめでとうございます！！

令和4年度

# やまぶき保育園 小・中学校

# 卒園式 卒業式



4月からはそれぞれ新しい環境での生活がスタートします。特に新高校1年生は、村外での学校生活が始まり、初めてのことに戸惑うこともあるかと思いますが。そんな時は、今まで村で学び経験したことを活かして、またふるさと川上村に誇りを持ち、思いやりや感謝の気持ちを忘れずに、これからののびのびと成長してくれることを願っています。



3月15日に川上中学校、16日にやまぶき保育園、23日に川上小学校でそれぞれ卒園・卒業式が行われ、5人の生徒、6人の園児、3人の児童が通い慣れた学び舎を後に、新たな旅立ちを迎えました。長きにわたる新型コロナウイルス感染症の拡大によって、思い描いていた保育園・学校生活を送ることができず、苦労したこともあったかと思いますが、関係各位や子どもたちの工夫と頑張りで、無事に卒業式を迎えることが出来ました。

# 教育かわかみ

## 第123回 教育長通信

### ◇義務教育学校開校に向けて

みなさんお気付きでしょうか？  
旧川上小学校体育館の改修工事が完了し、屋根や壁が新しく生まれ変わりました。また、新校舎建設工事も基礎工事が順調に進んでいるところです。

本村の教育は「村づくりは人づくり、人づくりは教育」を基本理念とし、時代に適用する「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましい心身」「郷土愛」を4つの柱とした教育を進めております。本年



リニューアルされた体育館

度は、それらを基本とした一貫教育体制の構築や公共塾（仮称）の立ち上げなど教育内容を更に深化させる大切な1年となります。

源流の村を巣立っていく子ども達が、力強く自らの未来を切り拓いていけるよう、保育園・学校・行政はもとより、家庭・地域の皆さまも一丸となって、「育み」に一層のご協力をお願いいたします。

### ◇「八は末広がり！」

#### ～8名の小・中学生～

今春の卒業生は小学校3名、中学校5名で、合わせて8名でした。

8という数字は漢字で書くところ「八」で、下が広がることから「末広がり」といって昔からめでたい数字とされています。

小学校卒業生は、中学校に入学。場所は変わりませんが、詰襟学生服、セーラー服に身を包み、新鮮な気持ちで新たな出発を果たすこととしましょう。

中学校卒業生は、いよいよ村外に出て、初めて1,000人を超える規模の高校生活に入ります。今まで経験したことのない大人数に

面食らうことがあるでしょうが、多くの先輩達が皆、すぐに新たな環境に馴染んでしっかりとやっていますから大丈夫です。川上村で培った力を存分に試す気概で頑張ってください。活躍を期待しています。

### ◇学校職員の退職について

今春定年退職される中川教頭先生は着任以来3年間、朝一番に出勤し、精力的に業務に携わってくれました。

中村和美さんは、川上東小学校給食調理場勤務から出発し、本年度まで勤務。長年にわたり、子ども達が喜ぶおいしくて栄養バランスのとれた給食づくりに誠心誠意取り組んでくれました。

井口和美運転士は、長年にわたりのような悪天候の中であっても児童生徒の安全な登下校を果たすことを一途に、ハンドルを握ってくれました。

水口雅彦指導主事は、5年間指導主事として教職員の指導に当たるとともに、後半の2年間は教委事務局副次長兼務の重任を果たしてくれました。

福本先生、森本先生、高貝運転手の3名は再任用で2度目の退職ですからご紹介は割愛させていただきますが、皆さま、長年のお勤めご苦労様でした。無事に退職を迎えられたことをお喜び申し上げます。

9 (火)	2 (火)	30 (日)	29 (土)	28 (金)	27 (木)	26 (水)	20 (木)	18 (火)	17 (月)	14 (金)	13 (木)	12 (水)	11 (火)	10 (月)
心電図検査	草引作業 社会見学	5月(皐月 さつき)	陸上記録会	祝日 昭和の日	創立記念日	保護者会(授業参観・PTA総会・学級懇談会)	尿検査②	全国学習学力状況調査 村教育振興会役員会	家庭訪問②	家庭訪問①・尿検査① PTA新旧役員会 玄関前立哨指導	新入生テスト	全日授業 生徒会披露	給食開始・身体測定	小・中学校合同入学式
													〈小学校〉 〈中学校〉	



## ○文化クラブの活動

本校では、水曜日の6時間目に、文化的な活動に親しみ、特技を伸ばす時間として、文化クラブを開設しています。今年度の活動を紹介します。

### 【将棋クラブ】

今年度は、7名で活動しました。生徒たちは毎時間、一手一手を考えながら駒を指し、より良い将棋を指せるよう励みました。春には、あまり将棋に慣れていなかった生徒も、3学期には、先を読んで指せるようになりました。ご指導いただきました枡昭平先生に、深く感謝申し上げます。



### 【ものづくりクラブ】

今年度は6名で、ものづくりを楽しみました。フラワーアレンジメント講師の殿貝真子先生のご指導による「サンキャッチャー」と「ガーランド」。陶芸家の鈴木雄一郎先生と鈴木智子先生のご指導による「手びねりのポットと多肉植物の植え付け」。その他に「銀粘土」、「ボールペンのハーバリウム」、「粘土細工による和菓子作り」、「ハスワーク」、「食品サンプル」の制作に取り組みました。個性あふれる素敵な作品が出来



上がり、満足しながら互いの作品を鑑賞し合いました。出来上がった作品は、紅葉祭や山幸彦まつりで展示し、保護者・地域の皆様に見ていただきました。

ご指導いただいた先生方に感謝申し上げます。

### 【書道クラブ】

今年度は、2名で活動しました。うちわや大きな模造紙に書など、書道の形にとられない様々な作品作りに励みました。その中でも、紅葉祭のテーマを2人で協力して、模造紙に大きく書いた作品は、ホールでもひときわ目を引



く作品となりました。

忙しい中学校生活の中で、心を落ち着けて「書」と向き合う時間

は貴重なものです。これからも書道の楽しさを感じてもらえたらと思います。

## ○第41回卒業式

3月15日（水）、元気な5名が卒業しました。卒業生の皆さんの、ご健康とご活躍をお祈りします。これまで子ども達のために、本校教育活動に、ご支援・ご協力くださった、保護者・地域の皆さま方に厚く御礼申し上げます。



# 図書館だより

## 図書館再発見！

今回は「図書館」をテーマに本を紹介します。国際子どもの本の日、子ども読書の日、図書館記念日…など、4月は図書館や読書に関する記念日が続きます。この機会に図書館のこと、もっと知ってみませんか？



**「100万回死んだねこ  
覚え違いタイトル集」**  
福井県立図書館（講談社）

図書館の大きな役割のひとつに「レファレンス」があります。利用者からの質問・相談に応じ、調べものに必要な資料を探すお手伝いをするサービスです。本書は福井県立図書館で実際に寄せられた、思わずクスツとしてしまう「覚え違いタイトル」のレファレンスを厳選した一冊です。どんなあいまいな問い合わせも解決してしまう司書さんの手腕に脱帽です。レファレンス、ぜひ活用してくださいね。

## 「図書館ウォーカー 旅のついでに図書館へ」

オラシオ（日外アソシエーツ）

元図書館員である著者が旅の途中で立ち寄った、全国66館の図書館をまとめたエッセイ集。その土地の日常の空気感を味わえるのが図書館の魅力であると著者は語ります。貸出しはできなくても、郷土の資料や展示など図書館の工夫を見るのもおもしろいものです。ふらりと図書館に立ち寄ってみたいくなります。

※本書の中で「林業の村の絶景図書館」として川上村立図書館が掲載されています。



## 「本の声が聞きました」

ささき みお／絵 横山 寿美代／監修（少年写真新聞社）

誰もいないはずの放課後の学校の図書館から話し声が聞こえます。それは汚されたり破られたりして傷んでしまった本たちの嘆きの声で…。本の正しい扱い方が優しくわかります。図書館の本はみんなのもの。「本からのおねがい」が届きますように。

## 図書館DEトーク「朗読会」を開催しました

3月17日（金）「春の朗読会」を実施しました。

夜の図書館で持ち寄った本を読み合い、耳から味わい語り合うちょっと特別なひと時。本をきっかけに参加者同士の会話が弾み、楽しい時間を過ごしました。

今回は見学を含め8名の方にご参加いただき、「読書の楽しさを改めて認識しました」「とても楽しかったです！」などうれしい感想が寄せられました。朗読会は今後も開催予定です。次回の図書館DEトークもどうぞお楽しみに！



【問い合わせ先】 村立図書館 TEL52-0144

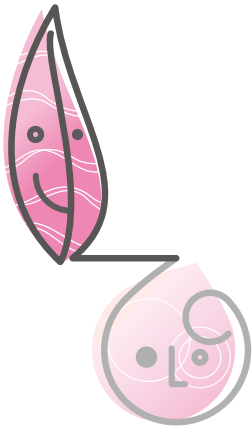
日	月	火	水	木	金	土
❖						1
4	2	3	4	5	6	8
月	9	10	11	12	13	15
	16	17	18	19	20	22
❖	23	24	25	26	27	29
	30					
日	月	火	水	木	金	土
❖		1	2	3	4	6
5	7	8	9	10	11	13
月	14	15	16	17	18	20
	21	22	23	24	25	27
❖	28	29	30	31		



# 森と水の源流館だより

April, 2023 vol.245

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)



## 昔の道具 其の一

「めんつ／めんぱ」…木製の曲げ物の弁当箱。中は朱塗り。おちがいに入れて持っていく。尾鷲のヒノキで作ったものを行商人が売りに来た。価格は今も昔も山行きさんの2.5日分の日当に相当する。



## 森と水の源流館

### NEWリーフレット

4月といえば桜の花を思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。川上村にはクマノザクラ、ヤマザクラ、カスミザクラ、ウワミズザクラなどが自生し、ソメイヨシノ、エドヒガンなど様々な栽培品種も植えられているため実は3〜5月の2か月間も桜の花を楽しめるとご存じでしたか？いつ頃咲いて、どんな特徴があるのかは書くとなくなるので省略します。

そして、新しい始まりや出会いがあるように、森と水の源流館のリーフレットも新しくなりました。この広報に同封していただきますのでぜひ実物をご覧ください。源流はものごとの始まり、始まりは未来とつながります。だから、△ ⊕ □なのです。さらに1/4サイズに折ることもできるのでポケットに入ります。イベントへのご参加もお待ちしております。とくに、5月6日(土)吉野川紀の川しらべ隊「川上村のうつり変わりをしらべよう」は古い写真を見ながら当時の川上村のことを記録に残していく調査ですので、村民

の皆様にご案内していただくかなければ分らないことがたくさんあります。これに合わせて森と水の源流館だよりの上部で紹介していた川上村の名所・名跡が昔の道具に変わります。同じ川上村でも地区によって名前や使い方が違ったりすると思しますのでご意見・ご感想をお寄せください。

令和5年春来館予定 (令和5年3月21日現在)			
月	日	午前	午後
4	20	木	成蹊女子高等学校1年生
	21	金	成蹊女子高等学校1年生
5	1	月	陵西小学校4年生
	2	火	城島小学校3・4年生 三宅小学校4年生
	9	火	畝傍南小学校5年生 旭ヶ丘小学校4年生 畿央大学健康科学部
	11	木	磐園小学校4年生 三和小学校4年生
	12	金	真美ヶ丘第一小学校4年生 桜井西小学校4年生
	15	月	上牧第三小学校4年生 浮孔西小学校4年生
	16	火	下田小学校4年生
	18	木	志都美小学校4年生 王寺南義務教育学校4年生
	19	金	新沢小学校4年生 河合第一小学校4年生
	23	火	磐城小学校4年生 二上小学校4年生
	25	木	平野小学校4年生
	30	火	田原本南小学校4年生 真菅北小学校4年生



# かわかみ源流ツーリズムの

## 「ひとめぐりかわかみ」



【3月4日 「畿内三庚申・徳蔵寺で庚申さんの「守り申（さる）づくり」】

西河の徳蔵寺にて、庚申さんの「守り申」を作りました。ガイドの辰巳悦佳さんと城内靖子さんに教えていただきました。和気あいあいと縫い上げていきます。

それぞれ個性がある大小2つの自分だけの「守り申」ができました。「みんなでわいわい作るのが楽しかった」「玄関に飾ります」との声をいただきました。



【3月18日 「マルモ先生の木の教室 ①冬に楽しむ森林さんぽ」】

小雨の降る中、匠の聚の「芸術の森」にて開催。マルモ先生曰く、この森には約30種類以上の木が植生しているそうです。植物は冬をどうやって越しているかなど、図鑑や図に描いて教えていただきました！ルーペを使って冬芽を観察したり、木の枝をかじってみたり、五感で木と触れ合いました。「勉強になりました。マルモさんの熱情素敵です」と、嬉しいお声いただきました。



## 世界自然遺産「知床」の エコツアーを学ぶ

3月17日（金）、株式会社知床ネイチャーオフィスの代表・松田光輝さんを講師に研修会を開催。村民ガイドや事業者など約50名の方に参加いただきました。

松田氏からは、「川上村はこういう場所であると知らせる」ことがガイドの仕事であるとし、欧米の人が価値を感じるような自然の素材が村にはあるので、それを資源としてみんなで磨いていくようアドバイスをいただきました。



現在募集中のプログラムや体験レポートは、ホームページをご覧ください。

### 【問い合わせ先】

かわかみ源流ツーリズム  
TEL 52・0333  
営業時間 9時～17時（水曜定休）

川上村では、河川敷や山林周辺において以下のことをしないでください

①火気の使用

②ゴミの放置

③水をよごす行為

昨年春より村では、山と水を守り、都市にはない豊かな生活を築いていくために、河川敷や山林周辺での①火気の使用 ②ゴミの放置 ③水をよごす行為を「しないでください」と発信しています。川や水に親しむ季節を迎えるにあたり、村では来訪される方に向けて、引き続き呼びかけていきます。村民のみならず、ご理解・ご協力をお願いいたします





# かわがみ満足ガイド



## 森と水の源流館

### ■吉野川紀の川しらべ隊

「川上村のうつり変わりをしらべよう」

- とき** 5月6日(土)  
**じかん** 午後1時～午後3時半  
**ところ** 森と水の源流館  
**定員** 20名(中学生以上)  
 ※民俗調査に興味があり引き続き参加できる方優先  
**参加費** 村内在住在勤者無料  
**内容** 写真データの整理・アーカイブ化  
**【申し込み・問い合わせ先】**  
 《森と水の源流館 TEL 5 2 - 0 8 8 8》

### ■吉野川紀の川しらべ隊

「川上村の生きものをしらべよう」

- とき** 5月7日(日)  
**じかん** 午後1時～午後3時半  
**ところ** 蜻蛉の滝周辺(現地集合・解散)  
**定員** 20名(中学生以上)  
 ※自然調査に興味があり引き続き参加できる方優先  
**参加費** 村内在住在勤者無料  
**内容** 川上村の森林に生息する春の昆虫を中心とした調査(5/14(日)根来山げんきの森(和歌山県岩出市)での調査と比較)  
**【申し込み・問い合わせ先】**  
 《森と水の源流館 TEL 5 2 - 0 8 8 8》

## 廃食用油の回収にご協力ください！

水源地の村として、河川等の環境保全と再資源化をめざし、村内の一般家庭で発生・排出される使用済み食用油を役場窓口で回収しています。

※廃油回収にご協力いただいた方に、リサイクル石けんをお渡しします。

### ■回収できるもの

植物性油  
 (サラダ油・コーン油・菜種油・大豆油・ごま油・ひまわり油・オリーブ油など)

### ■回収できないもの

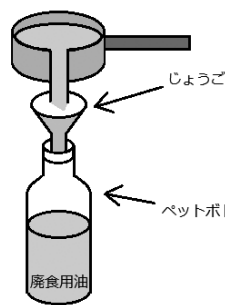
動物性油  
 (豚油・牛脂・魚油・パーム油・ヤシ油)  
 鉱物性油(エンジンオイルなど)  
 固体油(バター・マーガリン)

## 回収方法

油をよく冷ましてから、使用済みの油容器やペットボトル容器等に移し替えたものを容器ごとお持ちください。



油はよく冷めます



じょうご等を利用して  
こぼれないように



ふたはしっかり閉める

**【問い合わせ先】** 住民課 TEL 5 2 - 0 1 1 1

## ふるさと市場出店者募集！

毎年4月～11月の毎週日曜日・祝日、迫郵便局前駐車場でふるさと市を開催しています。出店に興味のある方は、下記の条件を確認のうえくらし定住課までお問い合わせください。

- ・一般的に村の特産品、民芸品といえるもの
- ・村内で生産、製造されているもの ※いずれかに該当

※年間を通じてではなく、1回限りの出店も可

※出店料は1回につき500円

【問い合わせ先】 くらし定住課 TEL 52-0111

## 国民年金保険料免除等の申請について

保険料が納め忘れの状態、万一、障害や死亡といった不測の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられない場合があります。

経済的な理由等で保険料を納付することが困難な場合には、保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」や「納付猶予制度（50歳未満）」がありますので、お早めに手続きをお願いします。

産前産後期間の国民年金保険料が免除になります

出産予定日または出産日が属する月の前月から4ヵ月間の国民年金保険料が免除になり、出産予定日の6ヵ月前から手続きができます。

会社を退職したときは年金の切替え手続きが必要です

20歳以上60歳未満の方が会社を退職され、農業者、自営業者、学生、フリーター、無職等になった場合には、国民年金第1号被保険者（又は第3号被保険者）への切替え手続きが必要です。

【問い合わせ先】 住民課 TEL 52-0111

## 自衛官を募集します！

自衛官候補生（国家公務員）を募集します。興味のある方は、下記までお問い合わせください。

対象 18歳以上33歳未満の者 受付 随時受付中（お問い合わせください）

試験日 受付時にお知らせします

【問い合わせ先】 自衛隊奈良地方協力本部 五條地域事務所 TEL 0747-22-3789

## 村内の求人情報を広報紙に掲載します！

村では、村内事業者の求人情報を広く村民にお知らせし、地域の雇用を促進することを目的に、「広報かわかみ」紙面に求人情報に掲載します。

■掲載条件：村内に事業所(本社及び支店、勤務地など)がある事業者であること

勤務地が村内の求人であること

公の秩序または善良な風俗を害するおそれがあると認められる

事業所及び事業内容でないこと

■掲載方法：概ね3ヵ月毎に広報かわかみ紙面に掲載します。

次回掲載予定：5月号 4月20日(木)までに掲載申込をお願いします。

■申込方法：「広報求人情報掲載申込書」に必要事項を記入し、役場くらし定住課またはかわかみワーク事務局までお申込みください。申込書は役場窓口または村ホームページよりダウンロードできます。

【応募・申込・問い合わせ先】 くらし定住課 TEL 52-0111

かわかみワーク事務局 TEL 58-7256



## 固定資産税縦覧期間について

固定資産縦覧制度は、納税者の皆さんが土地や家屋の評価額を比較検討し、自らの土地や家屋の評価額の適正さを判断していただく制度です。

この制度では、固定資産税納税者が「自己の土地または家屋の価格」と「村内のほかの土地または家屋の価格」との比較ができるよう記載帳簿（所有者・課税標準額・税額などは除く）を縦覧・確認することができます。

- と き** 4月3日（月）～5月31日（水） ※土・日・祝日を除く
- じかん** 午前9時～午後5時
- ところ** 役場総務税務課
- 対 象** ・固定資産税【土地・家屋】の納税者 ・納税者の代理人（委任状の提示が必要）
- 帳 簿** 土地価格等縦覧帳簿【所在・番地・地目・地積・価格】  
家屋価格等縦覧帳簿【所在・家屋番号・種類・構造・床面積・価格】
- 手数料** 無料
- 必要物** 納税通知書、本人確認ができる書類（運転免許証等）、印鑑

**【問い合わせ先】** 総務税務課（固定資産税係） TEL 52-0111

## 農業委員募集のお知らせ

任期満了に伴い、農業委員を募集します。農業に関する知識と熱意を持ち、農地利用の最適化等の職務を適切に行うことができる方の応募、推薦を下記のとおりお待ちしております。

- 募集方法** ①村内（原則）からの推薦  
②農業者等の組織する団体からの推薦  
③一般募集
- 受付期限** 5月15日（月） **募集人数** 7人
- 任 期** 令和5年7月20日～令和8年7月19日
- 応募資格** ①原則として村内に住所を有する者  
②委員と兼業を禁止されている職に就いていない者  
③本村の職員でない者  
④第8条第4項各号に該当しない者
- 応募方法** 下記の書類（役場に備え付け、またはホームページからダウンロード）に必要事項を記入し、くらし定住課に提出してください。  
・川上村農業委員会委員応募申込書  
・川上村農業委員会委員推薦書
- その 他** 推薦及び応募者が定数を超えた場合は、関係者からの意見聴取などを実施し、その意見を村長に報告、委員候補者を決定後、議会の同意を得たうえで農業委員を選任いたします。

**【問い合わせ先】** くらし定住課 TEL 52-0111

## 川上村奨学生募集について

川上村では、学校教育法による高等学校以上の学校に在学し、又は入学する生徒・学生を対象に奨学金貸与制度を設け、奨学生を募集しています。

- 対 象** ①4月現在、高校・大学等（大学・短大・専修学校）に在学している者  
②学校教育法に規定され、修業年限が1年以上の学校に通っている者  
③授業時数が文部科学大臣の定める授業時数以上の学校に通っている者  
④教育を受ける者が常時40人以上いる学校に通っている者  
⑤川上村立中学校を卒業している者
- 貸与額** 月額30,000円以内  
（大学・短大・専修学校）  
月額25,000円以内  
（高校・高等専門学校）
- 貸与期間** 在学する高校、大学等の正規修業の期間
- 申込期間** 4月10日（月）～28日（金）※土日祝除く
- その 他** 詳しくは、川上村教育委員会事務局にお問い合わせください。  
申請書類等は、教育委員会事務局で配布します

**【問い合わせ先】** 教育委員会事務局 TEL 52-0144

# 人事異動

## 総務税務課

課長 森脇 深（水源地課課長） 副課長 梶田真由美（総務税務課主任）  
主事 亀井 裕二（くらし定住課主事） 主事 嶋田 宏也（教育委員会事務局主事）

## 水源地課

課長 今福 和男（総務税務課副課長） 主任 深堀 円（くらし定住課主任）  
主任 阪中 啓太（新規採用）

## くらし定住課

主事 栗山 貴大（奈良県福祉医療部） 主事 石田 陽亮（新規採用）

## 林業建設課

奈良県フォレスター 森川 万里（新規採用）

## 住民課

主任 松本由香梨（くらし定住課主任）

### 【川上診療所】

事務長 井筒 明美（住民課主任）

## 健康福祉課

理学療法士 伊藤 翼（新規採用）

## 教育委員会事務局

主任 玉井 孝明（水源地課主任） 指導主事 梅谷 一夫  
ALT マクドナルド・アーレン・ダビード

## ◎再任用

参事 上田 一仁（林業建設課参与） 参事 森内 太（総務税務課課長）  
運転手 井口 和美（スクールバス運転手）

## ◎退職

上田 一仁（林業建設課参与） 森内 太（総務税務課課長）  
徳永 直美（住民課副課長） 水口 雅彦（教育委員会副次長）  
吉村由己子（健康福祉課保健師） 山口 順子（健康福祉課看護師）  
福中 涼馬（総務税務課主事） 岩本 隼風（総務税務課主事補）  
井口 和美（スクールバス運転手） 中村 和美（調理員）

## ◎その他の異動

中野可央利（五條土木事務所） 西浦 智子（南奈良総合医療センター）

## 教職員の人事異動

### 川上小学校

◎転入 養護講師 鷺見 真季（川上中学校）  
講師 中東 郁雄（上北山村教育委員会）  
講師 伊藤 千紘（新規採用）  
◎転出 教諭 橘 孝泰（耳成小学校）  
講師 細川 雄慎（青和小学校）  
◎退職 養護講師 森本久美子  
講師 福本 彰

### 給食調理場

◎転入 調理員 新井由香里

### 川上中学校

◎転入 教頭 藤高 伸茂（光陽中学校）  
教諭 西川 春菜（県新規採用）  
講師 石井 秀明（県新規採用）  
養護講師 水原 恵（黒滝小学校）  
初任者指導教員 廣川 雅啓  
◎転出 養護講師 鷺見 真季（川上小学校）  
事務職員 田中 華奈（県立大淀養護学校）  
◎退職 教頭 中川 仁志

### スクールバス

◎転入 運転手 今井 敏博  
◎退職 運転手 高貝 全宰





### 川上俳句会

森井美知代選

**特選** 福寿草に二月の天気定まらず

辻井 清子(大滝)

評 福寿草は正月のめでたい花として、広く栽培されている。一月が過ぎて二月になっても勢いよく咲いている。おりしも二月の天候不順が気がかりである。

**特選** 引鴨ひきがもや水の流れを風が押し

前田 景子(大滝)

評 春になると鴨が北方へ去って行くことを引鴨という。この時期作者は水の流れに気を取られていたのである。水の流れもご神仏のご加護を受けて風に押されているらしいと深く感動されたのであろうか。

**特選** 拝殿の朝日を受くる猫柳

望月 彰美(迫)

評 拝殿には参拝者から供えられた猫柳が活けられてある。まぶしい朝日に、猫柳が大きく枝を伸ばし、参拝者にも元気を与えていると見えたのかもしれない。

**準特選** あちらにもほらこちらにも福寿草

新子谷生子(北和田)

**入選** 鶯の声とびとびの家つなぐ

上田 一郎(伯母谷)

窓の外先祖が植ゑし古梅かな

住川 準典(武木)

垂れ梅石垣沿ひに枝が伸び

松本 全代(大滝)

**選者吟** 亀鳴くや大和いくつも池があり

## てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

### 診療所 からのお知らせ

#### 【整形外科診療日】

と き 5月10日(水)  
受付時間 午前8時30分～11時30分

#### 【巡回診療日】

と き 4月25日(火)  
受付時間 午後2時～3時30分  
ところ ふれあいセンター (北和田)  
※受診される方は保険証をご持参ください  
【問い合わせ先】 川上診療所 TEL 52-0344



### 村営住宅入居者募集 のお知らせ

#### ◆北和田ふれあい住宅202号室

所在地	川上村北和田671番地
住宅名	北和田ふれあい住宅
建築年度	平成30年度
構造	木造2階建 1LDK・48.3㎡

**申込期間** 4月10日(月)～17日(月) ※土・日除く  
午前8時30分～午後5時15分

**入居時期** 5月1日(月)～5月31日(水)

**家賃** 収入に応じて決定  
※家賃の3カ月分を敷金として納入

**申込方法** 入居申し込みに必要な書類に所要事項を記入し、本人または申し込み事情を詳しく説明できる方が原則持参して申し込んでください。  
※詳しくはホームページをご覧ください

#### 【申し込み・問い合わせ先】

林業建設課 TEL 52-0111

#### ◆北和田ふれあい住宅203号室

所在地	川上村北和田671番地
住宅名	北和田ふれあい住宅
建築年度	平成30年度
構造	木造2階建 2LDK・60.1㎡

お誕生日おめでとう！「ますます元気に大きく育ってね」

4歳のお誕生日おめでとう。  
 いつもいっぱいお話ししてくる  
 えいちゃん。  
 これからも元気に大きく  
 育ってね。



まるい いた 瑛太くん(東川)  
 (平成31年4月27日)  
 4歳



HAPPY BIRTHDAY

かわかみの生き物

イワナ



水源地の森の魚類調査をしていると、見慣れない魚がタモ網の中で跳ねていた。イワナである。もし自然分布の個体であれば、奈良県絶滅寸前種のヤマトイワナ（キリクチ）の可能性が非常に高くなるのだが、模様はニッコウイワナに酷似しているため、放流魚の可能性を否定できない。「三之公にキリクチが生息していた」、「林業の飯場が在った頃に村内の生息地から三之公へ導入した」という証言も得られているが、詳細は不明である。もし何らかの情報を持っている方がおられたら、情報提供を願いたい。

おくやみ

山田 朝子様	(高原)	3月19日	81歳
鑑谷 春子様	(上多古)	3月18日	96歳

村の人口

3月31日現在			
人口総数	1,267人	(+6人)	
男	603人	(+4人)	
女	664人	(+2人)	
世帯数	757世帯	(+6世帯)	
3月中の異動			
転入	14人	転出	6人
出生	0人	死亡	2人

広報かわかみ 令和5年4月10日発行

発行 奈良県川上村／編集 川上村広報編集委員会  
 〒639-3694 奈良県吉野郡川上村大字迫1-335番地の7  
 TEL 0746-15210111  
 ホームページ <http://www.vill.kawakami.nara.jp>  
 メールアドレス [soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp](mailto:soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp)

